



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 94 号(2014 年 7 月 29 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

梅雨も明け、夏がやってきました。

毎月 2 回程度発行している法学部だよりですが、8 月はお休みをいただきます。楽しい夏休みをお過ごしください。

目次

- 卒業生からのメッセージ (第 34 回)
- 法学部からのお知らせ

○ 卒業生からのメッセージ (第 34 回)

昨年 9 月に法学博士を取得することができました。私は、某短大を出て教師を経験し、結婚して専業主婦を長くしていました。家事も子育てもしっかりやろうとすると、それはそれなりに大変ですが、やりがいもありました。しかし、子供たちが大学を卒業し、巣立ち始めた頃、思い違いをしていたことに気付いたのです。私には、大学受験も含めて親の期待通りにはできなかったという後ろめたさが常につきまとい、それを何とか払拭したい気持ちが強くありました。それを、私は子供たちに転嫁していたことに気づいたのです。

私は、意を決して 53 歳のとき、法学部第二部法学科に入学しました。大学で勉強を始めようとした動機は、上記のようなものでしたが、法学部の講義は、何もかも興味深く、一番前で身を乗り出すように勉強していました。ただし、各教科の試験は、かなり緊張していました。ちょうど「民法の一部を改正する法律案要綱」(1996 年)が発表され、夫婦別姓などの家族法の改正議論があった頃(改正案は、未だ、改正はされておられません。)で、家族法について学ぶことを希望し、大学院博士課程に進学しました。博士論文執筆にあたって、論文構成には本当に苦労しました。論文指導して頂いた諸先生方には大変ご苦労をおかけいたしました。

また、論文執筆中には父のことを思いました。父は話の筋道が崩れてくると容赦なくそこを突いてきて、理詰めで攻めて子どもの逃げ場をなくすという親の典型でした。そのため、精神的にとっても不安定なときもありました。けれども、お陰で筋道をつけることの重要性をいくらか認識できていたのかもしれない。

大学で学ぶことで本当に多くのことを得ましたが、その中でも特に精神的な自立を得ることができたことは、非常に貴重なことでした。今、学んでも、学んでも、なお学ぶことがあることを痛切に感じ、知らないということが多すぎるという思いと、一方で毎日何時間でも勉学ができるという喜びを感じています。

この度は、このように誌上を提供して頂き、思いもかけず今までのことを考える機会を頂けたことに大変感謝いたしています。

古川 瓊子 (岡山大学客員研究員、福山大学経済学部非常勤教員)

○ 法学部からのお知らせ

☆岡山大学オープンキャンパス

2014年岡山大学法学部のオープンキャンパスは8月9日（土）に実施します。

詳細はこちらから岡山大学ホームページをごらんください。申込締切は8月4日（月）です。

高校生のみなさんのお越しをお待ちしています。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/prospective/koukai01.html>

☆法学部留学生交流・報告茶話会が行われました。

2014年7月9日、法学部会議室に於いて、法学部留学生交流茶話会が開催されました。

当日はアメリカとイギリスの大学に留学した3人の法学部生による報告がありました。

どの報告もすばらしいものでしたので、法学部ホームページにプレゼンテーション資料を掲載しています。

ぜひご覧ください。

http://www.law.okayama-u.ac.jp/renkei/international_exchange/20140709_html

-
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
 - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
 - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
 - ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
 - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。